

コロナ禍に思う 日本人の「同調圧力」

日本証券アナリスト協会 常務理事
渥 美 恭 弘



世界中がコロナ禍にある中で、昨年来、流行っているジョークを紹介したい。

コロナ禍で、各国の政府が国民にマスクの着用を求めることになった。

米国政府はこう発表した。「マスクをする人は英雄です」

ドイツ政府はこう発表した。「マスクをするのがルールです」

イタリア政府はこう発表した。「マスクをすると異性にモテます」

日本政府はこう発表した。「みんなマスクをしていますよ」

2020年10月号の「視点」で、日本がコロナを何とかうまく抑えている要因「ファクターX」は、日本人の悲観主義ではないかと申し上げたが、もう一つの要因は、この日本人の「集団主義」、特にその中の、「同調圧力」ではないかと思う。「同調圧力」とは、言うまでもないが、集団において少数意見を持つ人に対して、周囲の多くの人と同じように考え行動するよう暗黙のうちに強制することである。言葉を換えて言えば、「空気」を読めという圧力である。ほとんど法的強制力のない外出自粛や営業自粛の要請であっても、みんながしっかりとそれを守るという国民性は見事なものである。麻生副総理が、「日本人の『民度』」と呼んだものであろう。